



学校便り



浅海

松山市立浅海小学校

2019.10.4

浅海の底力

校長 芳野 妙美

令和元年度の運動会は、台風の影響で予定日に実施できず、小学校種目のみとなりました。地域との合同開催とならなかったことを大変残念に思います。そんな中、浅海っ子たちを応援しようとお来賓の方、地域の方、体育部員の方を中心に公民館関係の方たちが、たくさんご来場くださいました。公民館のご厚意により、子どもたちが楽しみにしていた公民館種目の一つを「特別種目」としてプログラムの途中に加えることができたのも、運動会が盛り上がった大きな要因です。その種目では、子どもたち、保護者の方、地域の方が自由に参加できます。みんなが笑顔で走る姿に、浅海らしさを見出しました。

また、聖カタリナ大学の先生や学生の方も、都合をつけてお手伝いに来てくださいました。さらに、昨年度転任された先生方までも体操服で駆けつけてくださいました。お手伝いだけでなく競技にも参加してくださり、子どもたちは大喜びでした。

浅海地区の運動会は、順延となった場合地域の運動会は中止となります。そのため、小学校のみの運動会となり、実施前は「寂しい運動会になるのでは・・・子どもたちのモチベーションは大丈夫かな。」と心配したものです。子どもたちからも「地域の方たちに見ていただけないんですね。」という残念がる声も出ていました。

しかし、実際は違っていました。テントから溢れんばかりの人・・・、こんなにもたくさんの方に見守られながら運動会ができるなんて想像していませんでした。

応援合戦では、子どもたちと一緒に手拍子をしてくださり、どの競技でも応援の声が途切れることがなく、常にテントから温かい声援が響いていました。特に、全校ダンスの「ソーラン節」では、最後のポーズで大きな拍手をいただき、子どもたちも「やり切った」という充実感を味わうことができたと思います。今回、大活躍した6年生から「6年生の仕事が大変なことがよくわかりました。地域の方がたくさん来てくださってうれしかったです。」という言葉が聞かれたのも、うなずけます。

早朝の準備や片付けに至るまで、保護者の方はもちろん、地域の方皆様のご協力くださったことにも感謝の気持ちでいっぱいです。

「順延」によって、運動会に集結する浅海パワーが半減することはありませんでした。むしろ、「浅海の底力」を目の当たりにした一日だったように思います。今回の運動会では、浅海っ子たちが浅海の皆様に見守られ、大切に育てられていることをより深く感じるとともに、運動会やオリンピックがもたらす競技者と観衆の一体感を味わうことができました。

「浅海の底力」へ感謝しつつ、今後も運動会を始め、浅海地区の様々な行事がますます発展していくことを願っています。そして、この「底力」が、「秋空の下の運動会」から「春のまぶしい緑に包まれた運動会」へと引き継がれていくよう願っています。



令和元年度 秋季大運動会
仲間と共に 令和にはぼたけ 千ーム浅海



校内造形大会【9月27日】



低学年は「ともだちハウス」、中学年は「〇〇ワールド」、高学年は「葛城神社」の写生に取り組みました。作品に自分の思いがいっぱいつまっています！



浅海観月祭 9月28日

まちづくり協議会、実行委員会の皆様の「観月祭」への熱い思いが実り、公民館の広場に大きなキャンドルアートが描かれました。坂の上から眺める幻想的な光景は圧巻です。浅海っ子たちもキャンドルを並べたり、献撰をしたりするなど、イベントを盛り上げるのに一役買っていました。観月祭が成功したのも「浅海の底力」です。地域がひとつになる素晴らしいイベントが、今後ますます発展するよう学校も応援していきます。

